

アドブルーリッドクローズキット

取扱説明書

はじめに

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

本製品を安全に正しくご使用いただき、機能・性能を十分に発揮させる為に、必ず取付作業前・ご使用前に本取扱説明書をお読み下さい。取付け終了後は本書に記載されている内容を守り、正しく安全に使用して下さい。

- 本製品及び付属品を誤った使用方法・取扱いによって発生した破損、事故、損害などに関して弊社は一切の責任を負いかねます。また、クレーム・アフターサービスについても一切お受けできませんので、予めご了承下さい。
- 本製品はノーマル車両を基準に開発され、各車種専用に設定しております。
装着車種と適合車種を確認し、適合車種以外への装着は行わないで下さい。
適合車種以外に取付けた場合は、本製品の機能・性能及び安全性について保証いたしかねます。
- 本製品及び本取扱説明書は改良のため予告なく仕様を変更する場合がありますので予めご了承下さい。
- 本取扱説明書は自動車メーカー発行の取扱説明書や整備書等と共に大切に保管下さい。

適合車種

商品名	アドブルーリッドクローズキット
品番	TL70-C01
車名	TOYOTA LAND CRUISER 70
型式	GDJ76
年式	2023 年 11 月～
備考	

初版 2024 年 10 月 04 日
第 4 版 2025 年 08 月 25 日

安全上の注意

本取付説明書では安全に作業を行っていただくため、お客様への危険レベルを次のマークで表示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、作業員または使用者が死亡または重傷を負う可能性がある場合



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、作業員または使用者が傷害を負う可能性や、物的損害の発生が想定される場合

ご使用になる前に

⚠ 警告

- 本取扱説明書と自動車メーカー発行の整備書・サービスマニュアル等をよくご覧いただき、正しい作業手順や取付け方法をご理解の上、作業をお進め下さい。
- エンジン運転状態、平らではない場所、火気や薬品を扱う場所での作業は絶対に行わないで下さい。

⚠ 注意

- 本製品及びその他部品の着脱作業は、取り付け作業者が責任を負うこととなります。地方運輸局長の認証を受けた自動車整備工場等で専用工具等を使用し整備資格を持った整備士の方の作業を推奨いたします。
 - 走行直後の車両への作業は避け、エンジン周辺・マフラー・ブレーキ周辺などの温度が冷めたことを確認し、作業を行って下さい。
 - 全ての作業は作業に適した服装・保護具を着用し行って下さい。
-
- 装着前に構成パーツが全て揃っているか確認して下さい。
 - 製品は丁寧にお取り扱い下さい。落下などの強い衝撃を与えると、破損や変形をして確実な取り付けができなくなる場合があります。
 - 塗装される場合は塗装前に必ず車両側へのフィッティング作業を行い、正確に装着が出来るかご確認の上で塗装して下さい。装着及び塗装後の返品はいかなる場合でもお受けできませんのでご了承下さい。

取付時の注意

⚠ 警告

- 本製品は各車種専用に設定されております。適応車種以外への装着は行わないで下さい。
- 取付け確認を行って設計しておりますが、万一、自動車メーカーの仕様変更や追加装備等の変更により取付けに何らかの問題が発生した場合は直ちに作業を止め、標準仕様へ戻し弊社までご連絡下さい。

⚠ 注意

- 取付けの際はボディなどに傷を付けないよう十分に注意して下さい。必要な場合は表面保護フィルムなどで製品または車両を覆い取付作業を行って下さい。
 - 各ボルト・ナットを適正トルクで締め付けて下さい。適正トルクで締め付けない場合、ボルト・ナットのネジ部の破損や、ゆるみ、部品脱落の原因となります。
-
- 車種によっては純正部品を再使用する場合がございますので、部品取り外しの際は破損や紛失にお気をつけ下さい。



両面テープの接着について

- (1) テープを貼り合わせる材料（被着体）表面の油分、水分、埃や汚れを確実に除去して下さい。
- (2) パックプライマーを使用すると接着性が向上します。樹脂や塗装面に付着すると変色等が取れなくなる恐れがございます。接着部以外には付着しないように十分に注意してお取扱ください。
- (3) テープ本来の性能を発揮させるためには、十分な圧着及び養生をお願いします。
推奨圧着荷重はテープ 1cm² 当り 20N(約 2kgf) 以上、推奨養生期間は室温 (23℃) で 72 時間以上です。
貼り合わせた後、マスキングテープ等でボディに固定して時間を置いてください。
- (4) 低温下での接着は十分な接着力が発現しない恐れがありますので、15℃以上の環境下で作業されることをお勧めします。また、冬期の作業で冷えている製品及び被写体を屋内に持ち込む場合は、結露には十分注意して下さい。

取付後の確認

⚠ 注意

- 各ボルト・ナットが適正トルクにて締め付けられているか、部品の欠落等がないか必ず確認して下さい。
- 走行中に異音や異常な振動等の異変が生じた場合は、速やかに安全な場所に車両を停止し、取付けを依頼した自動車整備工場等で点検を行って下さい。

使用上の注意

⚠ 注意

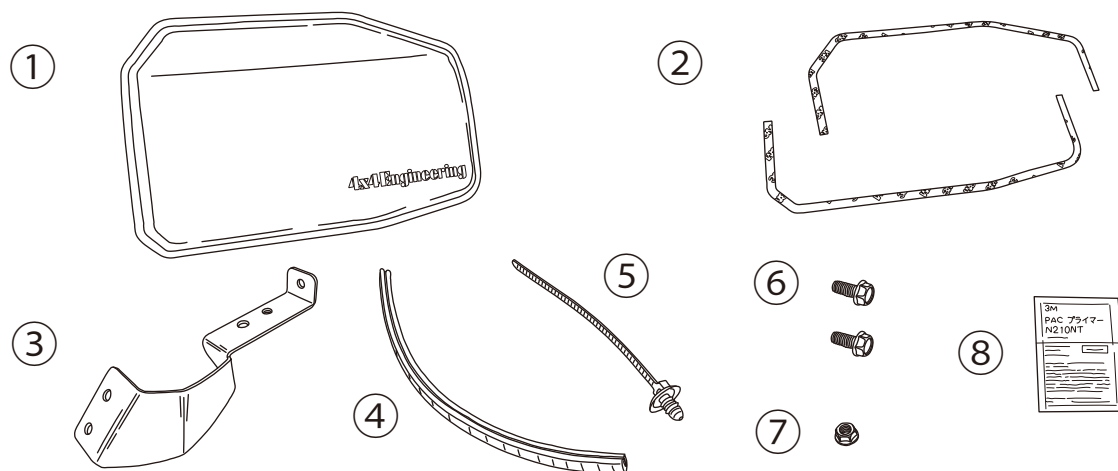
- 油脂類・有機溶剤などの薬品（ガソリン、軽油、ブレーキオイル、エンジンオイル、グリース、シンナー等）を付着させると、変色やシミの原因となりますので絶対に避けて下さい。万一付着した場合は、柔らかい布等で速やかに拭き取り、中性洗剤の水溶液を用いてよく洗い流して下さい。
- 日常点検はドライバーの責任です。快適に運転していただくために、必ずお車を運転する前に日常点検を行って下さい。
- 本製品使用期間中は、定期的に各締め付け部の緩みや破損部分がないか等を点検していただき、必要に応じて規定トルクでの増し締め・調整・清掃を行って下さい。
- 万一、製品や車両側取付部等に亀裂・変形等の異常や不具合が生じている場合は、そのままでの使用は避けてお買い求めの販売店または取付けを依頼した自動車整備工場へご相談して下さい。
- 装着後の製品や車体の経年変化から発生する装着傷や装着跡につきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。予めご了承下さい。

廃却について

- 廃却する場合はお客様ご自身で対処せず、必ず自動車整備工場や自動車部品解体業者などの専門業者に依頼して下さい。

製品内容の確認

- 取付け前に製品内容の有無、数量が全て揃っているかを確認して下さい。



	品名	サイズ	数量
①	アドブルーリッドカバー	ABS 樹脂	1
②	両面テープ（上下セット）	3M 製トヨタ用	1
③	移設ブラケット	スチール、カチオン処理	1
④	エッジトリム	-	1
⑤	ケーブルタイクリップ	-	1
⑥	フランジ付き六角ボルト	M6×P1.0×L12	2
⑦	フランジナット	M6×P1.0	1
⑧	PAC プライマー	N210NT	1

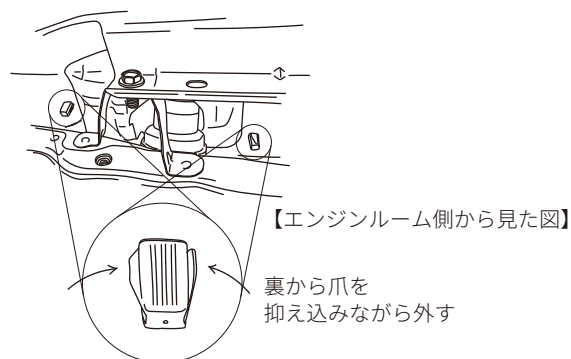
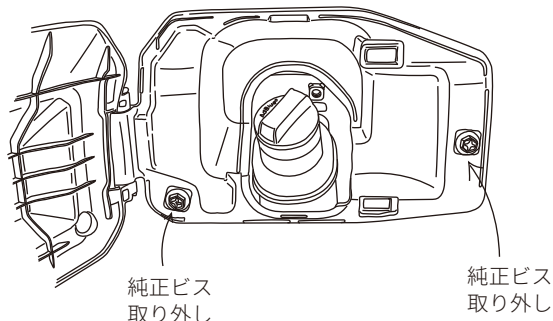
組付手順

1. アドブルー給油口カバー取外し

①左フロントフェンダーに装着されているアドブルー給油口を開き、純正タッピングビス（2本）を取り外します。

②給油口本体を取り外します。

フェンダー裏側から固定プラスチックの爪を抑え込みながら本体に力をかけると外しやすくなります。

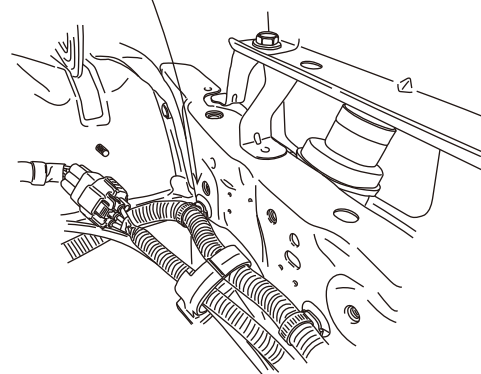
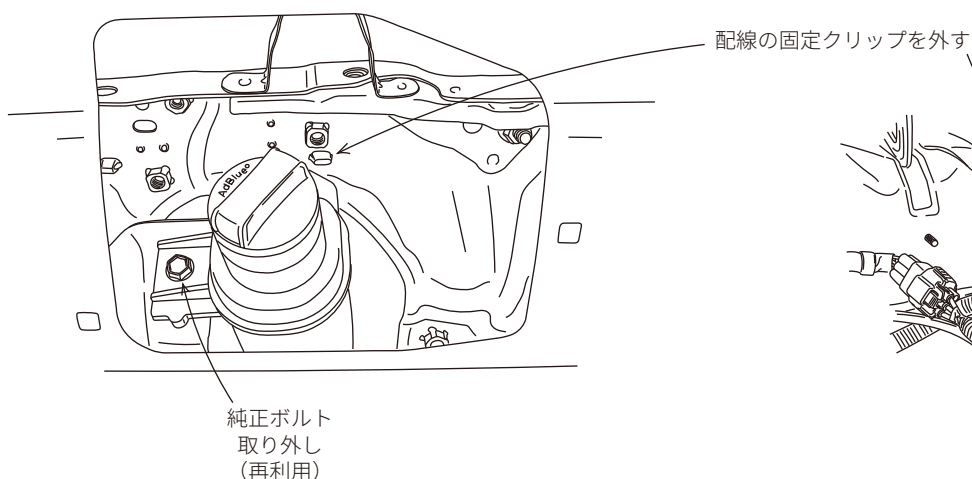


2. アドブルー給油口取外し

①給油口を固定している純正ボルト（1本）を取り外します。

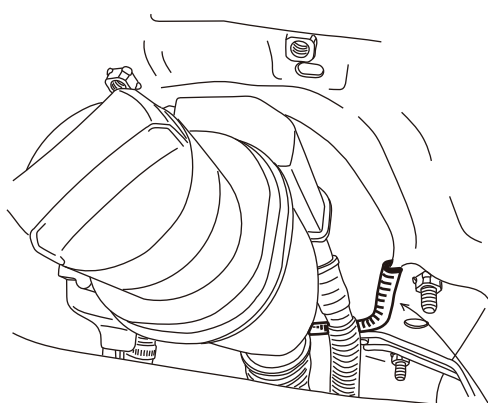
取外した純正ボルトは再利用します。

②エンジンルーム内の配線の固定クリップを1箇所外します。

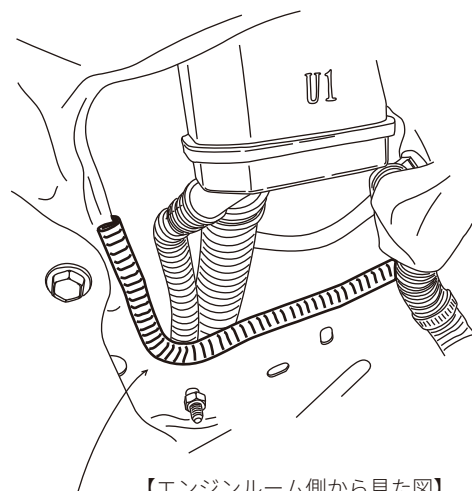


3. エッジトリム取り付け

①エッジトリムをイラストを参照して開口部のおおよそ下半分のエッジ部分に取り付けてください。



【フェンダー側から見た図】



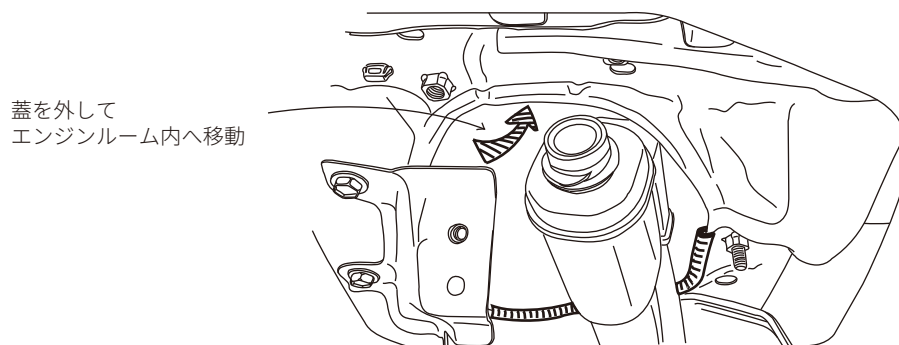
【エンジンルーム側から見た図】

エッジトリム取り付け

組付手順

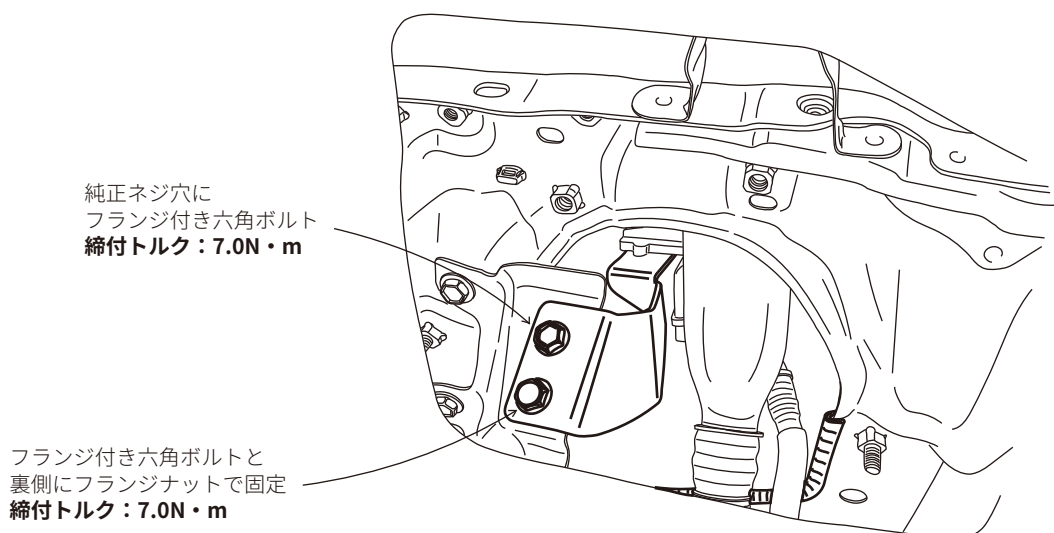
4. アドブルー給油口をボンネット内へ移動

- ①アドブルー給油口の蓋を外して、エンジンルーム内へ移動させます。
- ②移動後、給油口の蓋を閉めます。

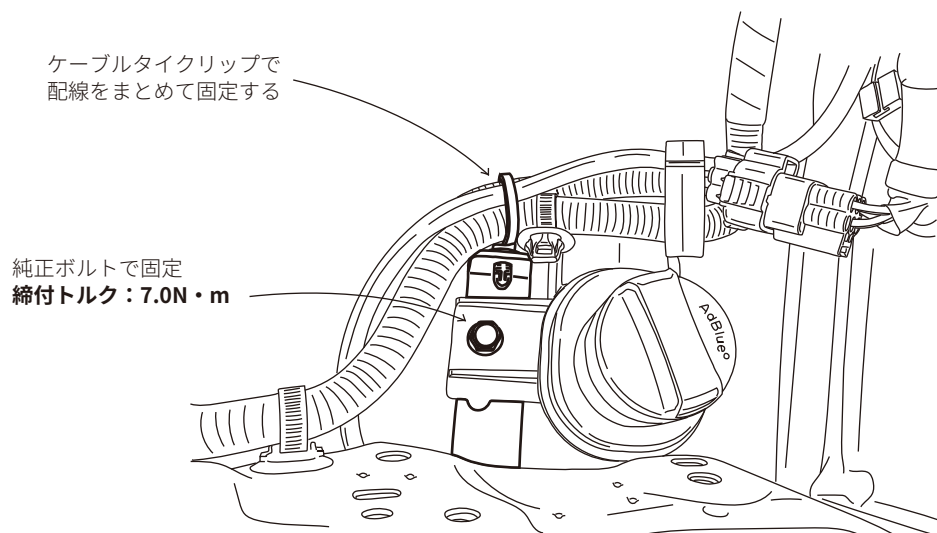


5. 移設ブラケット取り付け

- ①移設ブラケットをアドブルー給油口の純正取り付け位置に取り付ける。
フランジ付き六角ボルト 2 本とフランジナット 1 個を使用します。



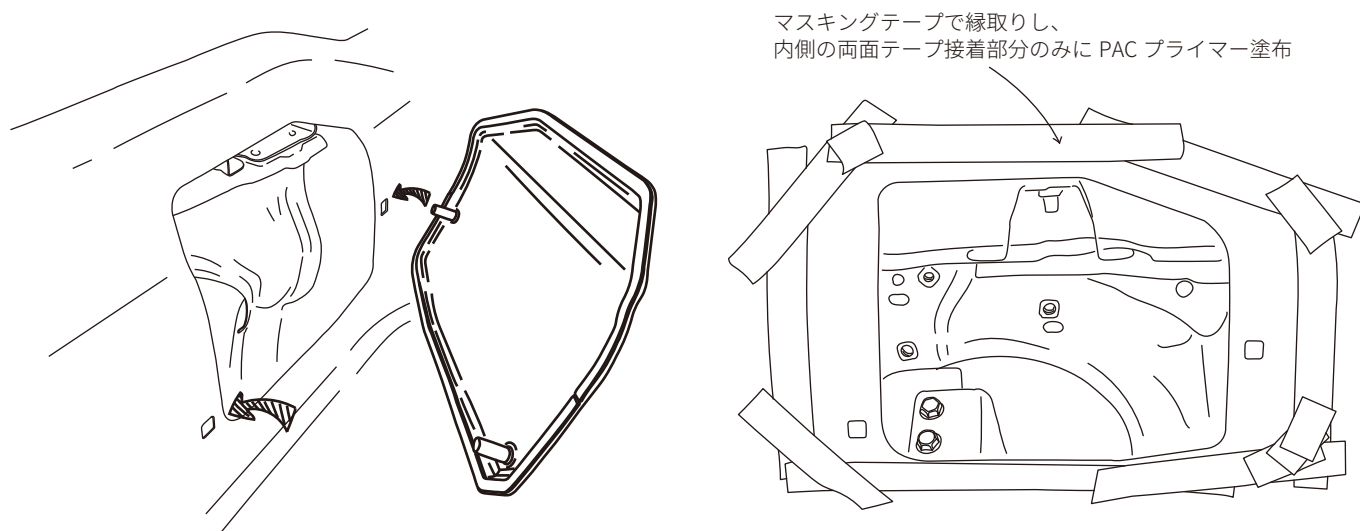
- ②エンジンルーム内に移動させたアドブルー給油口を移設ブラケットに固定する。
作業 2-①で取り外した純正ボルト 1 本を再利用します。
- ③ケーブルタイクリップを移設ブラケット先端の穴に取り付け、配線をまとめて固定する。



組付手順

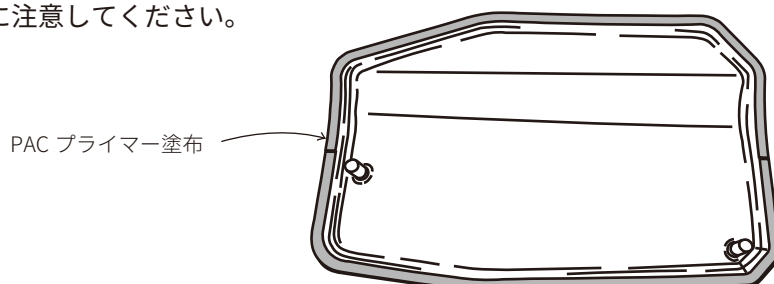
6-1. PAC プライマーを塗布（フェンダー）

- ① アドブルーリッドカバーを、フェンダーに仮当てして位置を確認します。
養生テープ等で車両に仮固定します。
- ② アドブルーリッドカバーの外周端末に合わせてフェンダー側にマスキングテープを貼り付けます。
- ③ 仮固定した養生テープを剥がしてアドブルーリッドカバーを取り外します。
- ④ フェンダー側の両面テープを貼り付ける部分を清掃・脱脂します。
- ⑤ 両面テープ接着面に PAC プライマーを塗布します。
テープ接着部分が細いですが、必ず接着面のみに塗布してください。
- ⑥ 塗布したプライマーを十分に乾燥させてください。



6-2. PAC プライマーを塗布（アドブルーリッドカバー裏面）

- ① 両面テープを貼り付ける部分（アドブルーリッドカバーの裏面の縁部分）を清掃・脱脂します。
※ご使用になる溶剤によっては変色等が発生してしまう可能性があります。
※溶剤が表面や他の部分に付着しないように注意してください。
- ② 上下の両面テープを、剥離紙を剥がす前に仮置きして位置を確認します。
※両面テープのウラオモテの向きに注意してください。



- ③ カバーの両面テープ接着面に PAC プライマーを塗布します。
テープ接着部分が細いですが、必ず接着面のみに塗布してください。
- ④ 塗布したプライマーを十分に乾燥させてください。



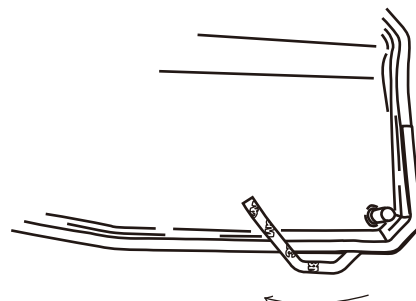
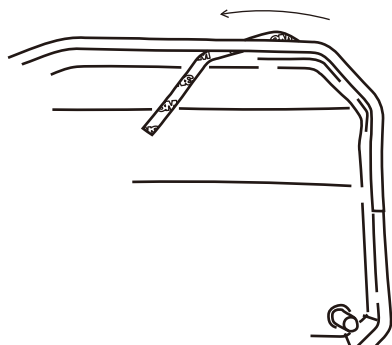
- ◎ 接着面の清掃と脱脂は大事です。
- ◎ PAC プライマーは接着面以外に付着しないように十分に注意してください。
特に ABS 樹脂の特性上、カバー表面に付着すると白く変色して除去できない可能性があります。
- ◎ 指に付着しているのを気付かず触ってしまった、作業台に付着しているのに気付かずに置いてしまったりして変色してしまう場合がございます。取り扱いにはご注意ください。
- ◎ ご使用前に、別途 PAC プライマーの取扱説明書を必ずお読みください。

組付手順

7. アドブルーリッドカバー裏面に両面テープ貼り付け

- ③ アドブルーリッドカバーの裏面の縁に両面テープを貼り付けます。
カバー貼付側の剥離紙を少し剥がして折り曲げ、位置を合わせながら剥離紙を引っ張っていくと綺麗に貼り付けることが可能です。

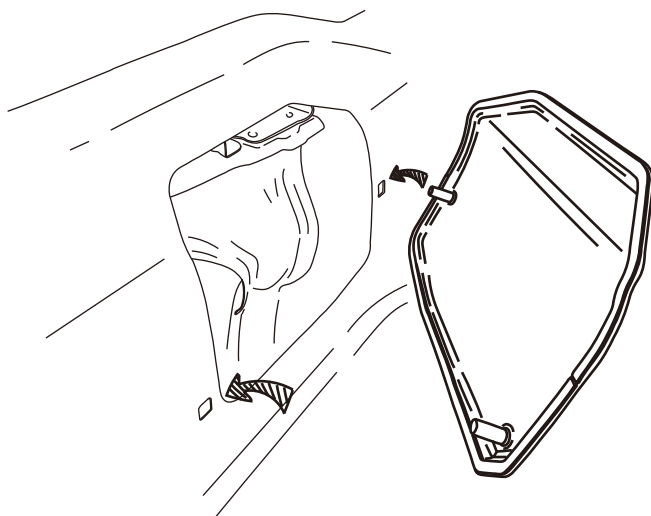
位置を合わせながら
剥離紙を引っ張って貼付け



位置を合わせながら
剥離紙を引っ張って貼付け

8. アドブルーリッドカバー取り付け

- ① 両面テープの剥離紙を剥がして、アドブルーリッドカバーを車体に貼り付けます。



- ◎ ボディのプレスラインとカバーのプレスラインの位置を合わせるイメージで。
- ◎ 作業時の気温が低いと接着が弱くなります。ヒートガン等でボディ表面温度を 20℃～ 30℃ にあたためると接着性が良くなります。
- ◎ 接着後、押さえつける方向に養生を行うと接着性が良くなります。（推奨 72 時間）



株式会社フォーバイフォーエンジニアリングサービス

<https://www.4x4es.co.jp>

E-mail : info@4x4es.co.jp